



森と海の自然科 活動案内

箕面の森自然観察散策会（報告）

今回の例会は、箕面の森自然観察散策会を行いました。コロナウィルス禍のため久々の山道。軽い足慣らしとしてのルート歩き、箕面の森の自然（主に樹木を中心として）を楽しみました。コロナウィルス感染対策のため、2つの班に分かれて観察しました。

気温・湿度とも高く、マスクを着けての歩きは疲れましたが、途中コゲラが樹をコツコツしている姿や才が原池の羽衣藻の小さな花に癒されました。名前は分かりませんが、沢山のキノコも見つけました。雨が降り出しましたが、ほぼ予定通りの行程で歩きました。皆さん自粛中もしっかり体調を維持されていたのでした。

記

日 時 2020年7月30日（木）

集 合 10時30分 阪急箕面線・箕面駅 改札口付近広場

- ・ルート 箕面の森 才が原林道より地獄谷を經由し滝道にでるコース
- ・解 散 15時 龍安寺にて

行 程 10時30分 箕面駅出発

箕面駅～聖天橋～聖天展望台～風の杜～才が原口～才が原林道～才が原池
（昼食・休憩）～地獄谷～姫岩～滝道～龍安寺

歩行距離等 約7km 歩行時間 4.5時間（休憩時間等を含めて）

参加者 20名

観察した植物 ユリノキ（箕面駅前）、ケヤキ（箕面市の保存木）、リョウブ（花と去年の実）、ネムノキ、ハウチワカエデ（葉の形が扇）、ネジキ（幹がねじれている）、ソヨゴ（葉が風にそよぐ）、カナメモチ、シャシャンボ、カゴノキ（幹の樹皮がまだら）、ハゴロモモ（水草）、リンボク（葉は火を当てるとはじける）、カラスザンショ、コバンノキ（葉の形が小判形）、クサキ（花をこすると臭い）、オガタマノキ（神社によく植えてある）、オオハンゲ等

環境への気付き；才が原林道にあった鹿除けフェンスの中の下草が他の場所に比べ、たくさん生えていた様子などが印象的でした。他の場所は鹿が草を食べつくしているのがよく分かりました。

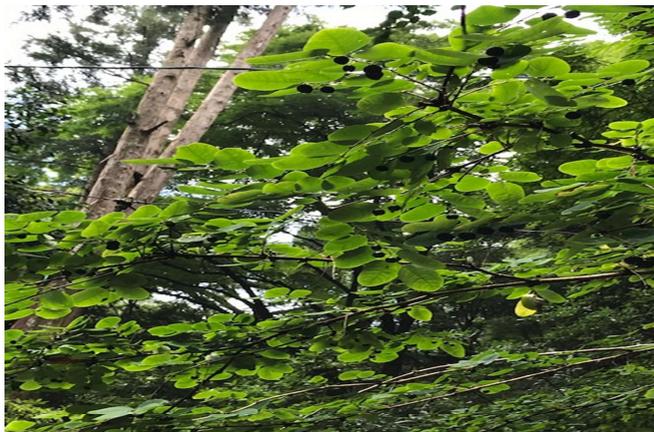
担当：Cグループによる森シリーズ



観察の様子



滝道の様子



ハゴロモモ



オオハンゲ



ルート図